

No. 07-6 IIP 部門 15 周年記念市民フォーラム

脳科学と機械工学

(情報・知能・精密機器 (IIP) 部門 企画)

開催日 2007 年 3 月 19 日 (月) 13.30 ~ 17.00

会場 東京工業大学 大岡山キャンパス 西 9 号館 2 階デジタル多目的ホール  
〔東京都目黒区大岡山 2-12-1 / 東急目黒線「大岡山」駅下車徒歩 1 分〕

趣 旨

賢い機械、やさしい機械、癒し系の機械など、機械の情報化・精密化とともに機械の知能化が急速に進んでいる。こうした知能をもった機械は、我々の生活の様々な場面に登場し、文字通り“機械的に”仕事をこなすだけでなく、今や人間の心にまで浸透しようとしている。機械の知能化は、人間の脳を範としているため脳科学と非常に密接な関係があり、さらなる機械の知能化のためには脳科学と機械工学との連携が不可欠である。そこで、情報・知能・精密機器 (IIP) 部門の 15 周年の節目の記念講演として脳科学の分野で第一線の研究者を講師としてお招きし、脳科学の面白さ、研究の現状と将来などを紹介していただくとともに、討論を通して機械工学との関わりについて考える。

プログラム

- |               |   |
|---------------|---|
|               | 総合司会：広島大学 三枝 省三   |
| 13.30 ~ 14.00 | オープニング「IIP 部門 15 年の歩みと将来展望」<br>東京電機大学 佐藤 太一   |
| 14.00 ~ 15.00 | 「脳科学による科学・技術と人文学の架橋・融合」<br>(株)日立製作所 小泉 英明<br>司会：日立金属(株) 岡田 亮二   |
|               | 非侵襲脳機能イメージングの進展によって 私達の精神活動の一部を含む脳活動が観察できるようになってきた。今までは主観の世界にあった事象が、計測によって客観化が可能になりつつある。そのために科学・技術と人文学の架橋・融合が現実のものとなってきた。 |
| 15.00 ~ 15.20 | 休憩  |
| 15.20 ~ 16.20 | 「脳と偶有性」 (株)ソニーコンピュータサイエンス研究所 茂木 健一郎<br>司会：日産自動車(株) 高橋 宏   |
|               | 脳は、規則的で半ば偶然の事象(偶有性)に適応することを通して、コミュニケーション能力や創造性を実現している。脳の偶有性処理のメカニズムについて考察する。  |
| 16.20 ~ 16.50 | 総合討論 小泉 英明, 茂木 健一郎<br>司会：岡田 亮二, 高橋 宏  |
| 16.50 ~ 17.00 | クロージング 佐藤 太一  |

オープニング/クロージングの講演者が変更になりました。

定 員 約 200 名 (先着順)

参加費 無料。会員・非会員を問わず、どなたでも参加できます。奮ってご参加下さい。

参加申込方法

「No.07-6 IIP 部門 15 周年記念市民フォーラム参加申込」と題記(電子メールの場合は件名に記入)し、(1)氏名、(2)会員資格(会員番号)(非会員の方も参加可能)、(3)勤務先・所属、(4)連絡先(所在地・電話番号・FAX 番号・E-mail アドレス)を明記の上、E-mail または FAX にて下記までお申し込み下さい。当日会場でも受け付けますが、事前申込にご協力願います。いただきました情報は、本市民フォーラムの管理・運営にのみ使用致します。

申込先

日本機械学会 情報・知能・精密機器部門(担当職員 井上 理)  
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階  
電話 (03) 5360-3503 / FAX (03) 5360-3508 / E-mail : inoue@jsme.or.jp